

2010年3月2日  
全員協議会にて

日本共産党議員団  
定岡 敏行

## 議長選挙への立候補表明

### (1) 議会は市政のチェック機関

長きにわたった自民党政治の「格差拡大、弱肉強食の構造改革路線」によって、地方の暮らしと経済は切り捨てられ、地方自治が脅かされています。その再生のためにも、地方自治体の一つのカナメ＝議会の役割はますます重要となっています。

その議会について「当局と議会は車の両輪」という論が良く言われますが、それは「歩調をあわせて、いつでもいっしょ」という意味であってはなりません。

議員は市民の代弁者であり、議会は市政のチェック機関です。片方の車輪が市民にとって良い方向へがんばろうとしているときは、しっかりこれを加速し、市民の願いとかけ離れた方向へ動こうとしているときは、ブレーキをかける・・・結果として37000人市民の行く末をにぎる市政が、「住民福祉の共同機関」として機能するようにする。それが「議会」という車輪の役割であり、その役割発揮こそ市民から託された責務です。

### (2) すぐできる、ここから議会改革

私たちの市議会は、その役割を発揮しえているでしょうか？議長選という席ですから率直に言いますが、多くの市民から寄せられる声は、「大きな議論が見えない」、「当局の追認機関だ」といったものです。

境港市議会はもっと変わらなければなりません。ではどのように変えるか・・・そこが議長選で問われることです。

議長としてご推挙いただければ、私は、次のようなすぐできることから改革をしたいと思います。

**【聞く】** 市民の声をもって行政に働きかける立場の議員が、市職員から「私の方が市民の声をよう知ってるで」と言われてどうします？ 多くは議員個々の、あるいは会派それぞれの姿勢と努力によるべきことですが、議会自身としても最低年1回ぐらいは、市民の多様な声を聞く懇談会のような場をもつことにしたいと思います。

**【学ぶ】** とはいえ、議員もオールマイティではありません。当局の提案する案件も陳情・請願も社会の変化にあわせて多様化しています。必要なら提出者あるいは当事者、専門家などから意見を聴取する機会を増やしましょう。

**【議論】** 委員会審議は現状、多くが行政提案の議題ですから、当局との質疑が中心になっていますが、当局提案の中身をよく知った上で、では、議員として議会としてどう考えるか、すぐ賛成だ、反対だという前に、議員同士が議論するという場がもっと必要ではないでしょうか。委員会運営の大事なポイントとして努力したいものです。

また、代表質問や一般質問の持ち時間をなぜ議会自からが制約する必要があるのか理解できません。改善したいと考えます。

以上が改革のすべてではありませんが、いっぺんにすべてを変えることはできません。ひと言でいえば、もっと市民の身近に身をおいて、学び、議論たくましくして、当局に対してスジを貫く、緊張感ある市議会へ・・・この立場で議会運営にあたる決意です。それが市民から信頼回復し、お互いに議員として成長してゆく道でもあると思います。

### **(3) 協力・共同、おしまず努力**

問題は率直に指摘、言うべきことは言いますが、政治的・政策的見解に異論はあっても、議会内では協力・共同の努力はおしまない・・・この8年間の私の姿勢はよくご承知していただいていることと思います。

安心してこの私を議長にご推挙くださいますようお願いし、立候補表明いたします。ご静聴ありがとうございました。